



語り劇の講師 夢実子氏

地域の輪、子ども食堂での学び等、7名の研修討議が行われました。ひとり

胆振管内母子寡婦福祉連絡協議会の派遣として、事務局と私の2名で出席させて頂きました。東北・北海道地区より約500名の参加者で開催されました。まず、厚生労働省の度会氏より行政説明があり、ひとり親家庭等日常生活支援事業や就業支援事業のマザーズハロー・ワーク事業・高等職業訓練促進事業、養育費確保に関する取り組み等、わかりやすく、丁寧な説明でした。

次に、各地区の方々がテーマに添い、自身の経験や母子会を通じてつながる

語り劇の講師 夢実子氏

立上げた方等皆さん、涙を流れながら発表され、今後の活動や、子育てに希望を与えて頂けた討議となりました。苦小牧市の代表の方も大勢の方々を前に大変素晴らしい発表をされていました。

2日目は、講師「夢実子氏」の語り劇が行われ、中川イセ氏の生涯を語った講演に熱心に聞き入っていました。研修大会を通して、私達が抱える現状を参加者と共に共有し、互いに支え合い母子会の会員として今後の活動に繋がる有意義な大会となりました。

## 第63回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会に参加して

開催日 令和元年9月7～8日  
場所 山形県天童市

むかわ町つくしの会

松並恵里子

親になってからお子さんの病気が発覚し、御自身も生活保護を受け給

して いた

が、ホームヘルパーやケアマネージャーの資格取得を

し、さらに小規模デイサービスを

川崎市は東海道五十三次の宿場街として栄え川崎大師は多くの観光客で賑わう観光都市でもある。会場入り口では、揃いのジャケットを着たスタッフの方たちが出迎えて下さり、全国から集まつた会員が広い会場を埋め尽くしていました。

開会式が始まり、凛とした司会者の進行で主催者挨拶に続き、川崎市副市長さんの歓迎挨拶では、豪雨による浸水被害を受けながら

も、全母子協の要請に応えて大会運営を支えて下さって

いることに感銘した。その後の祝辞も被災者への見舞い

川崎市は東海道五十三次の宿場街として栄え川崎大師は多くの観光客で賑わう観光都市でもある。会場入り口では、揃いのジャケットを着たスタッフの方たちが出迎えて下さり、全国から集まつた会員が広い会場を埋め尽くしていました。

開会式が始まり、凛とした司会者の進行で主催者挨拶に続き、川崎市副市長さんの歓迎挨拶では、豪雨による浸水被害を受けながら

も、全母子協の要請に応えて大会運営を支えて下さって

いることに感銘した。その後の祝

辞も被災者への見舞い

川崎市は東海道五十三次の宿場街として栄え川崎大師は多くの観光客で賑わう観光都市でもある。会場入り口では、揃いのジャケットを着たスタッフの方たちが出迎えて下さり、全国から集まつた会員が広い会場を埋め尽くしていました。

開会式が始まり、凛とした司会者の進行で主催者挨拶に続き、川崎市副市長さんの歓迎挨拶では、豪雨による浸水被害を受けながら

も、全母子協の要請に応えて大会運営を支えて下さって

いることに感銘した。その後の祝

辞も被災者への見舞い

川崎市は東海道五十三次の宿場街として栄え川崎大師は多くの観光客で賑わう観光都市でもある。会場入り口では、揃いのジャケットを着たスタッフの方たちが出迎えて下さり、全国から集まつた会員が広い会場を埋め尽くしていました。

開会式が始まり、凛とした司会者の進行で主催者挨拶に続き、川崎市副市長さんの歓迎挨拶では、豪雨による浸水被害を受けながら

も、全母子協の要請に応えて大会運営を支えて下さって

いることに感銘した。その後の祝

辞も被災者への見舞い

## 令和元年度全国母子寡婦研修大会に参加して

開催日 令和元年10月26・27日  
場所 川崎市カルツツカワさき

登別市母子寡婦の会

鈴木朋子

テーマごとに、明、研修討議となり、

川崎市は東海道五十三次の宿場街として栄え川崎大師は多くの観光客で賑わう観光都市でもある。会場入り口では、揃いのジャケットを着たスタッフの方たちが出迎えて下さり、全国から集まつた会員が広い会場を埋め尽くしていました。

開会式が始まり、凛とした司会者の進行で主催者挨拶に続き、川崎市副市長さんの歓迎挨拶では、豪雨による浸水被害を受けながら

も、全母子協の要請に応えて大会運営を支えて下さって

いることに感銘した。その後の祝

辞も被災者への見舞い

川崎市は東海道五十三次の宿場街として栄え川崎大師は多くの観光客で賑わう観光都市でもある。会場入り口では、揃いのジャケットを着たスタッフの方たちが出迎えて下さり、全国から集まつた会員が広い会場を埋め尽くしていました。

開会式が始まり、凛とした司会者の進行で主催者挨拶に続き、川崎市副市長さんの歓迎挨拶では、豪雨による浸水被害を受けながら

も、全母子協の要請に応えて大会運営を支えて下さって

いることに感銘した。その後の祝

辞も被災者への見舞い



道母連からの参加者

語り劇が行われ、中川イセ氏の生涯を語った講演に熱心に聞き入っていました。研修大会を通して、私達が抱える現状を参加者と共に共有し、互いに支え合い母子会の会員として今後の活動に繋がる有意義な大会となりました。



7名のパネラーのみなさん



苦小牧市 鈴木弥生さん



湘南記念病院乳がんセンター長 土井卓子氏



自己診断を実践指導